

三国山生物群集保護林

管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局・鳥取森林管理署
所在地・面積	鳥取県鳥取市、三朝町 ・ 319.03ha
設定年	平成3年1月13日設定、平成26年4月1日拡充、平成30年4月1日再編に伴う名称変更及び管理方針書設定

保護林の概要

当該区域は、氷ノ山後山那岐山国定公園に含まれる原生的な天然林で、南西の岡山県側の斜面は比較的なだらかで、一帯には恩原高原が広がっているが、鳥取県側は概して急峻で、深い渓谷を形成している。高齢級のブナや天然スギの大径木が生育する貴重な森林である。

森林植生は、ブナがほぼ単独で優占する中に天然スギやミズナラが散生するスギ-ブナ群落やブナ-ミズナラ群落がひろがり、渓谷部はジュウモンジシダ-サワグルミ群集となっている。

傾斜の緩い斜面上部では林冠のブナが倒伏した跡はギャップとなっているが、林床はチシマザサが広く覆っている。

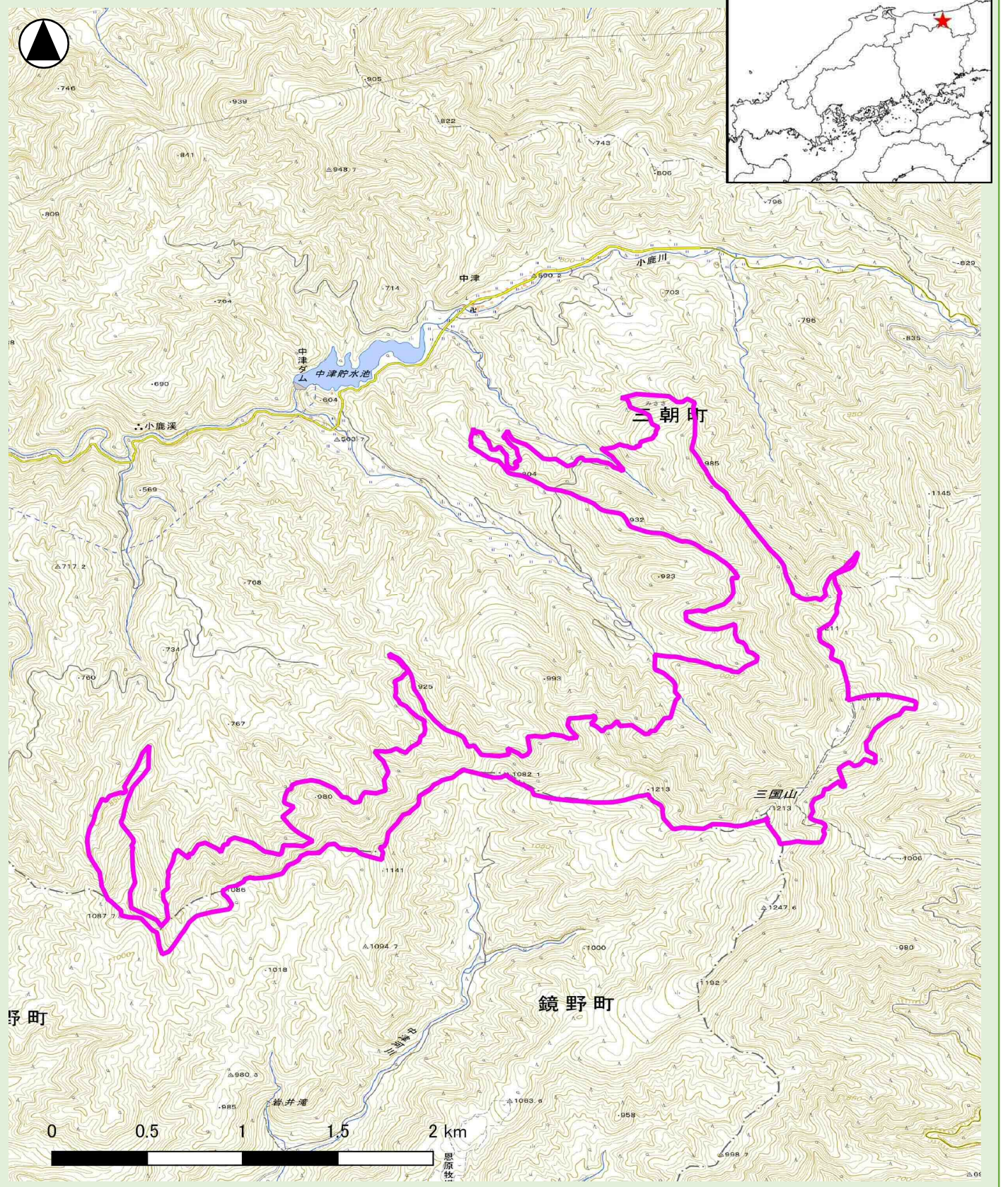
また、近年三国山に隔離分布している希少種が確認され、学術的にも貴重な地域となっている。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林タイプの分布等調査、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、野生生物の生息状況、山火事等災害発生状況調査、病虫獣害・気象害発生状況調査、利活用実態調査、管理体制実態調査
結果概要	スギ-ブナ群落やブナ-ミズナラ群落の森林は、現状において原生的な天然林が維持されており、過年度のニホンジカの食害レベルは小程度であった。しかし、本年度はササの枯死稈が散見され、既設林道沿いや尾根部、谷部において、ニホンジカの食痕が多数確認された。 また、自動撮影調査の結果、複数の地点でニホンジカ（オス、メス、幼獣）の生息が確認されており、当該保護林内に定着・繁殖していると判断された。 なお、ナラ枯れは新たな被害木が確認されていないことから、現状収束していると考えられる。 これらのことから、当該保護林はニホンジカの定着初期段階の地域と判断される。

三国山生物群集保護林 位置図



保護林内での注意事項

- ★貴重な植物群落の保護にご協力ください。
- ★植生の荒廃防止のため、歩道を外れて歩かないでください。
- ★許可なく動植物の捕獲及び採取をしないでください。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。